

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2021年6月）

目 次

新型コロナウイルス

◆6月30日現在の感染情報等	2
◆ワクチン接種対象年齢の引き下げ	2
◆露ワクチン「スプートニクV」の接種開始	2
◆6月14日以降のイベント開催規制緩和	3
◆主に外国人のワクチン接種対象者拡大	3
◆スロバキアのワクチン接種率	4
◆5月の変異株ゲノム解析結果	4
◆ジョンソン&ジョンソンのワクチン接種開始	4
◆デルタ変異株の初確認	4
◆ワクチン接種証明等に関するEU基準のデジタル証明書の発行開始	4
◆7月9日以降の規制措置変更	5

内 政

◆ミチヨウスキー農業相の辞任、ヴルチャン農業相の任命	6
◆政党支持率調査結果	7
◆ジャーナリスト殺害事件裁判第一審の無罪判決破棄	7

外 政

◆中川大使とミクレツ内務相の会談	8
◆安全保障に関する国際会議「GLOBSEC 2021 Bratislava Forum」	8
◆欧州復興基金に係る計画承認、欧州委員会委員長のスロバキア訪問	8

経 済

◆国家水素戦略の政府承認	9
--------------	---

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆6月30日現在の感染情報等

- (1) 6月のPCR検査に基づく新規感染者数は1686名（5月は6946名）、6月の死者数は145名（4月は621名）。
- (2) 6月30日時点のPCR検査に基づく累積感染者数は39万1659名（前日比+17名）。6月30日の検査数は5384件。
- (3) 6月30日時点の累積死者数は1万2511名（前日比+1名）。
- (4) 6月30日時点の1回目の累積ワクチン接種者数は203万946名（前日比+6250名）、2回目の同接種者数は158万7668名（前日比+1万4936名）。

◆ワクチン接種対象年齢の引き下げ（6月8日付保健省プレスリリース）

6月8日、保健省は、ファイザー／ビオンテック製ワクチンの接種対象年齢を12歳以上（従来は16歳以上）に引き下げた。

◆露ワクチン「スプートニクV」の接種開始

【6月8日付スメ紙】

6月7日、スロバキアにおける露ワクチン「スプートニクV」の接種が開始された。EU諸国でのスプートニクVによる接種はハンガリーに次いで2か国目である。

【6月23日付プラウダ紙】

6月23日、スロバキア政府は、ロシアから購入した露ワクチン「スプートニクV」20万個のうち、未使用分16万個を他国に無償提供又は売却する旨承認した。6月7日、18～60歳を対象にスプートニクVによるワクチン接種が開始され、同月10日、同ワクチンの接種対象年齢は61歳以上にも拡大されたが、同ワクチンによる接種希望者は2万人以下であり、保健省の想定を下回っている。当初、レングヴァルスキー保健相は、スプートニクVによる接種希望者を約8万人と見積もっていた。スロバキアは20万個のスプートニクVを確保したが、同ワクチンの使用期限は7～8月までとなっている。

（当館注：7月2日、保健省は、スロバキアがロシアから購入したスプートニクV20万個のうち、ロシアが未使用分16万個を買い戻したことを明らかにした。）

【7月1日付TASR通信】

6月30日、スプートニクVの接種登録が終了した。保健分析研究所（IZA。保健省管轄）によれば、計1万5681人がスプートニクVの接種登録を行った。スプートニクVの接種登録者が最も多い県はブラチスラバ県（251

1人)で、最も多い世代は45～49歳(1889人)であった。

7月1日現在、8818人がスプートニクVによる1回目のワクチン接種を待っていて、7573人が2回目のワクチン接種を待っている(ママ)。

◆6月14日以降のイベント開催規制緩和(6月10日付公衆衛生局布告)

6月14日以降、イベント参加時に陰性証明書の提示が義務付けられている場合、1回目のワクチン接種から21日以上経過した者は、陰性証明書の提示義務が免除される(ワクチンの種類については指定無し。従来は、2回目のmRNAワクチンを接種してから14日以上経過した者、1回目のベクターワクチンを接種してから4週間以上経過した者が、陰性証明書免除の対象であった)。

◆主に外国人のワクチン接種対象者拡大(6月14日付保健省プレスリリース)

6月14日、ワクチン接種対象者が拡大された。今回新たに接種対象となった者は以下のとおり。

1 公的保険未加入者で、スロバキアでの滞在資格を有する者(恒常的な住所を有する者、現住所を有する者等)。

(1) 登録サイト(※)での身分証明に必要な番号: 滞在資格番号

(2) 接種前に提示するID: スロバキアの滞在資格証明書

2 公的保険未加入者で、全日制のスロバキアの大学の学生

(1) 登録サイト(※)での身分証明に必要な番号: 滞在資格番号、又は国際学生証(ISIC)番号、又は旅券番号

(2) 接種前に提示するID: スロバキアの大学の在学証明書

3 公的保険未加入者で、スロバキアの初等学校又は中等学校の学生

(1) 登録サイト(※)での身分証明に必要な番号: 滞在資格番号、又は旅券番号

(2) 接種前に提示するID: スロバキアの初等学校又は中等学校の在学証明書

4 スロバキアで難民庇護申請を行い、同申請の受理について決定されていない者。

(1) 登録サイト(※)での身分証明に必要な番号: 難民庇護申請番号

(2) 接種前に提示するID: 難民庇護申請に関する証明書

【※登録サイト】

<https://vakcinacia.nczisk.sk/registracia>

◆スロバキアのワクチン接種率（6月16日付スメ紙電子版）

6月16日現在、スロバキアの1回目ワクチン接種率は35%で、EU平均（47%）を下回っている。スロバキアのワクチン接種率は、都市部では高いが農村部では低い。ブラチスラバの1回目ワクチン接種率は52%である一方で、ポルタール郡（バンスカー・ビストリツァ県）では21%に留まっている。ワクチン接種が遅れている地域では、接種会場へのアクセスが不便であること等が指摘されている。スロバキアは、約100万個の未使用ワクチンを有している。

◆5月の変異株ゲノム解析結果（6月18日付公衆衛生局布告）

公衆衛生局、スロバキア科学アカデミー（SAV）及びコメニウス大学は、5月の陽性サンプル955件のゲノム解析を実施したところ、結果は以下のとおり。

- 1 アルファ変異株（英国で最初に確認された変異株B.1.1.7）：878件（92%）
- 2 ベータ変異株（南アフリカで最初に確認された変異株B.1.351）：2件
- 3 デルタ変異株（インドで最初に確認された変異株B.1.617.2）：0件
- 4 その他：5件

◆ジョンソン&ジョンソンのワクチン接種開始（6月21日付保健省プレスリリース）

6月21日、保健省は、ジョンソン&ジョンソン（1回接種型ワクチン）の接種登録を開始した。接種対象年齢は18歳以上。

◆デルタ変異株の初確認（6月23日付Dennik N紙電子版）

6月23日、公衆衛生局は、デルタ変異株（B.1.617.2）がスロバキアで確認された旨発表した。（デルタ変異株への感染が確認された者は）ロシアのサンクトペテルブルクからスロバキアに入国（帰国）後に、新型コロナウイルス検査で陽性判定を受けていた。

ミカス公衆衛生局長は、「感染者と濃厚接触した者はいない。同人は入院の必要は無く、自主隔離を行っており、全ての検疫措置を遵守している」と述べた。レングヴァルスキー保健相は、同人がサッカー欧州選手権の試合をスタジアムで観戦していた可能性を排除した（6月14日及び18日、サンクトペテルブルクにおいて、サッカー欧州選手権のスロバキア代表の試合が行われていた）。

（当館注：7月12日付公衆衛生局発表によれば、これまでにスロバキアで3

5件のデルタ変異株が確認されている。)

◆ワクチン接種証明等に関するEU基準のデジタル証明書の発行開始

6月26日、スロバキア政府は、新型コロナウイルスのワクチン接種証明、陰性証明及び治癒証明に関するEU基準のデジタル証明書（スロバキアでの名称は「EUデジタルCOVID証明書 (Digitalny COVID preukaz EU)」)の発行を開始した。また、6月30日以降、EUデジタルCOVID証明書の情報を保存するためのアプリ「グリーン・パス (Green Pass)」のダウンロードが可能となった。

EUデジタルCOVID証明書に含まれる情報は以下のとおり。

- (1) 1回目及び2回目のワクチン接種
- (2) 抗原検査及びPCR検査の結果
- (3) 直近180日以内の新型コロナウイルス感染症の治癒

◆7月9日以降の検疫措置変更（7月8日付公衆衛生局布告）

1 7月9日以降、スロバキアに入国する12歳以上の者は、入国前に所定の政府ウェブサイト (<http://korona.gov.sk/ehranica>) への登録が義務づけられる。ただし、以下の場合、同サイトに入国ごとに毎回登録する必要はない。

- (1) 所定要件ア～ウ（※）のいずれかを満たす者は、同サイトへの登録後、6か月間は再登録する必要が無い。
- (2) 所定要件エ（※）を満たす者は、同サイトへの登録後、8月9日までは再登録する必要が無い。
- (3) 12歳以上18歳未満の者は、同サイトへの登録後、8月9日までは再登録する必要が無い。

2 7月9日午前6時以降、スロバキアに入国する全ての者は、以下のいずれかの検疫措置が義務づけられる。同居する者も同様に、同期間の自主隔離が義務づけられる。ただし、所定要件ア～ウ（※）のいずれかを満たす者は、これらの検疫措置が免除される。

- (1) 感染症状が無い場合、（PCR検査を受けずに）入国後に14日間の自主隔離。
- (2) 入国後5日経過してからPCR検査を実施。陰性結果が出るまで自主隔離。
- (3) 12歳未満の子供は、感染症状が無い場合、（PCR検査を受けずに）同居する者の陰性結果が出るまで自主隔離。

8月9日までの間は、所定要件エ（※）を満たす者も、上記（１）～（３）の検疫措置が免除される。

12歳以上18歳未満の者は、8月9日までの間は、同居人が所定要件ア～エ（※）のいずれかを満たす場合、上記（１）～（３）の検疫措置が免除される。

【所定要件（※）】

ア 2回目の新型コロナウイルスのワクチン接種を受けてから14日間以上が経過し、かつ12か月以上経過していない者。

イ 1回接種型（注：ジョンソン&ジョンソン製）の新型コロナウイルスのワクチン接種を受けてから21日間以上が経過し、かつ12か月以上経過していない者。

ウ 新型コロナウイルス感染症が治癒してから180日以内に1回目の新型コロナウイルスのワクチン接種を受けた者。ただし、ワクチン接種から14日以上経過し、かつ12か月以上経過していない者に限る。

エ 1回目の新型コロナウイルスのワクチン接種を受けた者。

ワクチン接種に関する証明書は、EUデジタルCOVID証明書の他、他国が発行したワクチン接種証明書も有効である。ただし、スロバキア語、チェコ語又は英語で書かれていることが条件。

内 政

◆ミチョウスキー農業相の辞任、ヴルチャン農業相の任命（6月8日付スメリ紙、6月9日付プラウダ紙）

5月25日、ミチョウスキー農業相は、自身が任命したスロバキア土地基金（SPF）のバルチョショヴァー所長が汚職疑惑で逮捕されたことを受けて、引責辞任する旨表明した。5月31日、ミチョウスキー農業相は大統領府に辞表を送付した。チャプトヴァー大統領は、後任の農業相候補が明らかになるまでは、辞表を受理しない旨表明した。

6月7日、ミチョウスキー農業相は記者会見を開き、スロバキア森林管理社（国有企業）や小規模農家からの辞任撤回を求める嘆願書を受け取ったこと等を理由に、辞表を取り下げる旨急遽表明した。同日、ヘゲル首相及びチャプトヴァー大統領は、ミチョウスキー農業相の辞表取り下げを認めない方針を示し、ヴルチャン（Mr. Samuel Vlcan）首相顧問（農業・EU基金担当）を次期農業相に指名（任命）することで合意した。

6月8日、ミチョウスキー農業相は正式に辞任し、チャプトヴァー大統領は、ヴルチャン氏を農業相に任命した。ヴルチャン氏は2020年4月に副農

業相に任命されたが、同年6月に理由を説明することなく辞任し、その後首相顧問に就任していた。

◆政党支持率調査結果（6月14日）

世論調査機関Focusによる政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。与党第1党OLaNOの支持率は8.2%で、2020年1月以降で最も低い支持率となった。

政党	Focus	2020年選挙
Hlas-SD（声・社会民主主義）	21.6%(41)	—
SaS（自由と連帯）	12.8%(24)	6.22%
Smer-SD（方向・社会民主主義）	12.0%(23)	18.29%
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	8.2%(15)	25.02%
Sme rodina（我々は家族）	7.6%(14)	8.24%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	6.3%(12)	※6.96%
KDH（キリスト教民主運動）	5.8%(11)	4.65%
Aliancia（同盟）（※ハンガリー系新党）	5.7%(10)	—
LSNS（我々のスロバキア）	4.8% (-)	7.97%
Za ludi（人々のために）	3.4% (-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

◆ジャーナリスト殺害事件裁判第一審の無罪判決破棄（6月16日付スメ紙）

6月15日、最高裁判所は、ジャーナリスト・クツィアク氏及び婚約者殺害事件被疑者のコチネル氏及びジュジョヴァー氏に対する第一審の無罪判決を破棄し、特別刑事裁判所への差し戻しを決定した。最高裁判所は第一審の無罪判決破棄の理由として、特別刑事裁判所はいくつかの証拠について十分に調査しておらず、無罪判決の内容には矛盾が見られる旨指摘した。

2020年9月、特別刑事裁判所は、実業家コチネル氏及びジュジョヴァー氏に対し、証拠が不十分なことを理由に殺人依頼罪については無罪判決を下していた。同事件の首謀者と見られていたコチネル氏に無罪判決が出されたことは大きな反響を呼び起こし、検察が提出した一部証拠を同裁判所が調査しなかったことが問題視されていた。

コチネル氏は、別の事件で有価証券偽造の罪により懲役19年の判決を受けており、引き続き刑務所に収監される。ジュジョヴァー氏は、2010年に発生したフルバノヴォ市長殺人事件に関与した罪により第一審で懲役21年の判決を受けたが、検察及び弁護士双方が上訴しており、ジュジョヴァー氏は引き

続き勾留されている。

外 政

◆中川大使とミクレッツ内務相の会談（6月1日付内務省プレスリリース）

6月1日、ミクレッツ内務相と中川大使と会談を行い、新型コロナウイルス対策措置の規制緩和、スロバキア警察に所属する選手も参加する東京オリンピックについて話し合った。中川大使は、「日本は、パンデミック下においてオリンピックを開催するにあたり、大会参加者の安全を守るために最大限の準備を行っている」と述べた。ミクレッツ内務相と中川大使は、警察間協力の強化の可能性についても話し合った。

◆安全保障に関する国際会議「GLOBSEC 2021 Bratislava Forum」（6月15～17日）

6月15～17日、ブラチスラバにおいて安全保障に関する国際フォーラム「GLOBSEC 2021 Bratislava Forum」が開催された。同フォーラムには、チャプトヴァー大統領、ヘゲル首相、コルチョク外務・欧州問題相、ナジ国防相の他、ドゥダ・ポーランド大統領、ミラノヴィチ・クロアチア大統領、クルツ・オーストリア首相、ハヴリーチェク・チェコ副首相兼産業貿易相等が出席し、また、教皇フランシスコがオンラインで参加し演説を行った。

日本からは、中山泰秀防衛副大臣がオンラインで出席し、日本周辺の安全保障環境や、「自由で開かれたインド太平洋」の維持・強化に向けた連携の重要性について説明した。

「GLOBSEC Bratislava Forum」は毎年ブラチスラバで開催されており、今年で16回目を迎えた。今年と同フォーラムでは、「民主主義の再生と信頼の回復」、「経済の成長と復興」、「ポスト・パンデミックにおけるグローバルな欧州」、「テクノロジーによるガバナンス」の4つのトピックに基づき、安全保障に留まらない幅広い議論が行われた。

◆欧州復興基金に係る計画承認、欧州委員会委員長のスロバキア訪問（6月21日付首相府プレスリリース）

6月21日、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長がスロバキアを訪問し、欧州委員会が（欧州復興基金に関連した）スロバキアの復興・強靱化計画（総額63億ユーロ）を正式に承認した旨発表した。フォン・デア・ライエン委員長は、スロバキアはEU諸国の中で5番目に早く同計画を欧州委員会に提出したことに言及するとともに、同計画の高いクオリティを評価した。

スロバキアは同計画に基づき、欧州復興基金からの資金の43%をグリー

ン・トランスフォーメーションのために、21%をデジタル化のために投資することになる。フォン・デア・ライエン委員長は、「スロバキアと同計画には、学生に対する将来の雇用支援、デジタル化の時代に不可欠なスキル向上、デジタル化に適用させるための企業支援、医療制度改革が含まれていることを嬉しく思う」と述べた。

ヘゲル首相は、「教育、医療、環境、行政の効率化、デジタル化がスロバキアの復興計画の優先事項である。デジタル技術のおかげで、パンデミックでも世界は完全に止まっていない」と述べた。

経 済

◆国家水素戦略の政府承認（6月23日付経済省プレスリリース）

6月23日、スロバキア政府は、水素技術の利用における政府の戦略的な役割を規定した「国家水素戦略」を承認した。同戦略は、スロバキア経済の競争力を高め、パリ協定に基づくカーボン・ニュートラル社会に貢献することを目的としている。政府は、同戦略に基づき、水素の生産、輸送、供給、備蓄に関わる全体的な枠組みを整備することになる。スリーク経済相は、「政府は水素技術に大きな可能性を見出している。水素を活用しない限り、スロバキアは脱炭素社会を実現することができない」と述べた。

スロバキア・イノベーション・エネルギー機関（SIEA）のブラシュコヴィトシュ所長は、「政府は既に、水素自動車、水素バス、2つの水素ステーションに関する入札を開始している。早ければ今年秋に、基本的な水素インフラが利用可能となる見込みである」と述べた。

政府は、2021年末までに、関連する政府機関の具体的な役割を明記した「国家水素戦略実現のための行動計画」を策定する予定。（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

